

ばばだけ！ JTサンダーズ広島



竹田 英司

11月上旬にあった和歌山遠征の食事会場。牛肉ステーキの前で山本将平主将が「1人1皿のみ」と書かれた表示を見つめていた。ステーキが出ることは珍しい。きつともう一皿食べたいのだろうと思ったので、私が「食べない人もいるだろうから、おかわりしていいよ」と告げると、山本主将はうれしそうに頬張っていた。

空腹そうな選手の顔を見るのは何とも切ない。「選手を満腹にさせて、寝かせる」。それがマネジ

◎ チームの母へ 道遠く

ヤーの業務であり、チームの母の役目だと個人的に思う。ただ、たまたま私は牛肉が苦手なので迷うことなく譲れたが、「自分の好物なら喜んで選手に譲ることができるか」と聞かれると自信がない。やはり世のお母さん方は偉大だ。チームの母への道のりはまだ遠い。

7日の試合をフルセットで落とした翌8日は西知恵選手の誕生日だった。朝食前の検温時に「ファンの皆さんが西の似顔絵をツイッターに載せて、お祝いしていたぞ」と話し掛けると、「その人たちのためにも今日は勝ちます」と力強く語ってくれた。

残念ながらその日も敗れてまさかの3連敗。肩を落とす私に久原大輝選手が「何を落ち込んでいるんですか。僕が若手の頃はもっと負けていました。またすぐに次の試合ですよ」と励ましてくれた。会場で声援を送ることはできなくても、皆さんの後押しをお願いしたい。(JT広島マネジャー)

8日に23歳の誕生日を迎えた

西選手⑬

